

第二回 幹事会 報告

第二回幹事会が、昭和六十年十一月二十日(水)午後六時四十分からREF会議室において開かれました。出席者は、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、長村氏(総務)、塚本氏(財務)、前川氏(交通)、中田氏(総務)、武井氏(土地利用)、稲葉氏(談話会、広報)、村松氏(研修会)、舟川君(広報)の十名で、以下の事項を協議、了承しました。尚、次回は昭和六十年一月二十三日の予定です。

一、分科会中間報告会の開催について

日程：昭和六十一年一月三十日(木)午後六時
場所：県職員会館四〇一室
原稿：レジュメB4版二枚程度に要約し、三十部程度印刷して当日持参。

懇親会：会員二千円、学生千円(会費)

*各分科会は、次回幹事会までに出席を確認して下さい。

二、秋田地域問題研究会との交流会について

*今期の国内研修会は、秋田地域問題研究会との交流および降雪地域の視察ということで、秋田を訪問することが決定しました。なお、研修期日は二月下旬の予定です。(詳細は次号で報告します。)

*十二月七日(土)に秋田市で開催される地方都市問題研究会の幹事会に、本多副会長の代理で加藤副幹事長と前川幹事が出席することになりました。

三、談話会について

号外でもお知らせしたとおり、第二回REF談話会が昭和六十年十二月十八日(水)に県職員会館において開かれます。今回は『香港・中国都市調査』の報告会を行ないます。

四、理論研究会について

資料として『エコロジー入門』(P.シアーズ、講談社現代新書)を使用することになりました。

五、IRE関連報告

*NIRA特定課題研究助成(第II類)の対象研究機関に選ばれました。

テーマ：『地方都市の活性化の方策』

：共働き社会の都市的再活性化について

*委託研究の『福井医科大学周辺地区整備構想』ですが、年内にその内容をまとめて提出するそうです。

*『カナダ・バンクーバーEXPO86視察団』の募集を行なっています。(詳細は別欄にて)

六、雑件

六、雑件

ひとりの新入会員が承認されました。(詳細はニューフエースを参照)

理論研究会からのお知らせ

開催がのびのびになっており、大変申し訳ありません。年内の開催は無理ですが、これからも精一杯頑張りますので、よろしく願います。

第二回 談話会 告示

日時：十二月十八日(水)午後六時三〇分
会場：福井県職員会館二〇一室
テーマ：『香港・中国都市調査』報告会
会費：会員は無料、非会員は千円
(当日参加の方には報告書を無料配布します。)

話題 あれこれ

REF活動も第六期スタートから五ヶ月を経過し、各分科会は来年の中間報告会に向けて四苦八苦していることでしょう。今回は、号外でお知らせした地盤分科会の福井卓雄氏のアメリカ留学についてくわしく報告します。留学先はアメリカ合衆国ニューヨーク州バッファローにある、ニューヨーク州立大学バッファロー校の工学および応用科学部土木工学科で、留学期間は昭和六十一年一月四日から十一月三日の十ヶ月間です。向こうの大学では、海の波および地震波などの波動現象の数値シミュレーション手法に関して研究されるそうです。異国の地で生活するのは大変ですが、立派な体格が変わることのないよう頑張ってください。また、近況報告も待っています。

「バッファロー」

バッファローは五大湖の一つであるエリー湖に接する人口約五十万(周辺部を含めると百万人を越える)の国境の都市で、近くには有名なナイアガラ滝があります。この都市は五大湖水運の出口に位置しているため、古くから荷物の積出港として発展してきました。また、バッファローは北緯四十三度(北海道と同緯度)に位置しているため、やはり寒冷ですが、今年は異常気象のため冬には零下三十度にもなるそうです。(広報部より)

十一月十九日(火)、緑分科会の杉本氏に待望の第一子(長女)誕生！
姓名判断の結果、『有紀』(ゆき)と命名。
元気にすくすくと育って下さいね。オメデトウ！

冬切前に飛び込んできたホットな話題をひとつ。
十二月八日(日)、住分科会の広田卓哉氏が長い沈黙期間の末、ついに結婚されました。末長く、お幸せに！

NEW F.A.C.E

*大野木 常行 氏(四十三歳) 水分科会
勤務：福井県農林水産部耕地課

分 科 会 だ よ り

交 通 11/12(火) 福井大学交通計画研究室

前回決めた目次に沿って、各章の担当と方針を検討しました。その後、関連資料の収集を行ないました。

次回は、12月11日(水) 福井大学交通計画研究室の予定です。

緑 11/26(火)、12/4(水) 福井大学高嶋研究室

研究フローの検討、資料収集及び情報交換を行ないました。また、忘年会の相談と中間報告会までの活動計画の検討も行ないました。

次回は、12月17日(火) 福井大学高嶋研究室の予定です。

水 11/27(水) REF会議室

NEW FACEで紹介した大野木氏がこの日から参加されました。なお、水分科会では『中部土木史』に芝原用水についての原稿を出すことになりました。

次回は、12月10日(火) REF会議室の予定です。またこの日は、それぞれの分担と全体構成を決め、その後忘年会を行なう予定です。

土地利用

11/10(日)、11/13(水)、12/3(火) REF会議室

去る11月10日(日) 福井市中心部および郊外の大規模商業施設(ベル、ピア)において、来客者意識調査を行ないました。この集計は11月13日にREF会議室で行なわれ、現在、福井高専において分析が行なわれています。定です。また、12月3日は忘年会をかねて『あらかわ』で行なわれ、今後の方針および留置のアンケート(商業施設に対する意識調査)の内容について話し合われました。

次回は12月18日(水)に、簡単な打合せを行ないます。

住

地 盤 11/22(金) 福井大学福井(卓)研究室

各班の活動報告を行ない、その後は班ごとに別々の活動を行ないました。

次回は今のところ未定です。

【カナダ・バンクーバー EXPO 86 視察団】

の募集について

来たる1986年5月2日から5ヶ月余り、カナダのバンクーバー市において、“交通と通信・人類の発展と未来”をテーマとして国際交通博覧会 EXPO 86 が開催されます。我が国でも、運輸省、建設省を中心に万博参加に向けて、積極的な取り組みがなされております。

この度、当財団法人地域環境研究所におきまして、21世紀の福井を考えていくためにもぜひこの博覧会を視察、見学しておこうという趣旨から、下記のようなツアーを企画いたしました。地元産・学・官の交流の一助ともなるべく、種々の分野からの御参加をお願いいたします。

記

- 1 主 催 : 財団法人 地域環境研究所
- 2 期 日 : 1986年5月3日(土)～5月9日(金)の7日間
- 3 参 加 費 : 31万円(パスポート申請手数料を除く)
- 4 定 員 : 30名(先着順、定員に達し次第締切ります)
- 5 申込方法
および締切 : 本企画の申込書および旅行案内説明書を下記あて御請求下さい。諸件が明記されておりますので、御検討のうえ、所定の手続きをお取り下さい。
・締 切 日 : 1986年1月31日(金)
・資料請求先 : 〒910 福井市中央3-1-5
三谷ビル(財)地域環境研究所
☎(0776)27-0078
- 6 担当旅行代理店 : ㈱阪急交通社名古屋営業所
☎(052)563-0031 担当 木村、松本、浜野

寅年、飛躍の年を迎えて

REF会長 富田 伊太郎

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、本年は本会結成七年目にあたりますわけですが、この間、研究会活動の揺らん期の基礎づくりは、ほぼ終えたものと考えております。

本年よりは「福井」の研究会にとどまることなく、積極的に他地域や海外との交流活動をすすめ、他地域の経験、情報に学び、井の中の研究会活動に埋没せず、新たな方法、知見等を導入し、REFの発展を図りたいと考えております。

第二回談話会

開催される!

第二回談話会が、昭和六十年十二月十八日(水)午後六時三十分から、県職員会館二〇一号室において開催されました。

今回は、去る昭和六十年八月二十一日より二十六日まで実施された「香港・中国都市調査」の報告会として行われました。

なお、参加者はREF会員二十名にビジターとして柁沢英男氏(三和測量建設)を加えた計二十一名でした。(参加者は以下の通りです。敬称は略させていただきます。)

…北嶋、本多(義)、加藤、長村、川村、沢崎(幸)、武井、万匠、前川、松本、村松、稲葉、村本、柁沢、金子、古瀬、佐藤、那須、伴、舟川、三上

スライド上映会では、参加者は絵が変わるたびにその土地の想い出がよみがえっていたようでした。また、一番印象深かったスライドは調査団が行った先々での食事風景ではないかと思えます。参加者はそれぞれ旅先での疲れも忘れて楽しそうでした。

(香港・中国に行けなかった広報部より)

第六期 中間報告会 御案内

前号の幹事会報告でもお知らせしたように、第六期中間報告会が左記のように行なわれることに決まりました。当日は会長挨拶の後、各分科会の報告を7分程度行ない、質疑応答、続いて懇親会という段取りになっています。会員の皆様、ふるって御参加下さるようお願いいたします。

I. 中間報告会

日時: 昭和六十一年一月三十日(木) 午後六時
場所: 福井県職員会館四〇一室

II. 懇親会

日時: 昭和六十一年一月三十日(木) 午後七時三十分(予定)

《内容》

- ・開会の辞(北嶋氏)
- ・団長挨拶(本多氏)
- ・調査報告(詳細は報告書を参照)
- ・歩行空間調査班(前川氏)
- ・土地利用調査班(川村氏)
- ・都市環境調査班(加藤氏)
- ・交通システム調査班(松本氏)
- ・公園緑地調査班(万匠氏)
- ・YRP調査班(欠席)
- ・スライド上映会(古瀬氏)
- ・閉会の辞(長村氏)

NEW FACE

* 山田 稔 氏(二十七歳) 会友
勤務: 大阪大学工学部土木工学科助手
住所: 吹田市山田丘二一
大阪大学工学部土木工学科
☎ 〇六(八七七)五一一

話題 あれこれ

前号の幹事会報告でもお知らせしたように、今期の国内研修会は秋田を訪問することに決まりました。秋田では空港、駅前再開発、雪対策などの現地視察や、秋田地域問題研究会との交流会などを予定しています。なお、詳しい募集要項は裏面を御覧下さい。次に、アメリカのパツファロー州立大学に留学された地盤分科会の福井卓雄氏の連絡先をお伝えします。会員の皆様、福井氏に励ましの手紙を送りましょう。すばらしいアメリカ土産がもらえるかも? 最後に、未確認情報の一つ。(財)地域環境研究所の研究員として頑張っておられる松本隆二氏が交通分科会に入会するかもしれないとのこと。今後の動向に注目したいと思います。(次号では松本隆二氏に関する情報を掲載予定)

*福井卓雄氏 米国連絡先

Mr. Takuo Fukui
c/o Prof. R.P.Shaw
Department of Civil Engineering
State University of New York at Buffalo
212 Engineering West R-8
Buffalo, New York 14260
U.S.A.

分 科 会 だ よ り

交 通 12/11(水) 福井大学交通計画研究室

各章の活動報告を行ない、今後の活動内容を検討しました。その後、中間報告会についての打合せを行ないました。

'86 1/24(金) 『あらかわ』

新年会をかねて行なわれ、中間報告会にそなえて原稿の最終チェックをしました。

次回は、2月26日(水) REF会議室の予定です。

緑 12/26(木)、'86 1/22(水) 福井大学高嶋研究室

前回と同様、研究フローの検討、資料収集及び情報交換を行ないました。

次回は未定です。

土地利用 12/18(水) 中 止

現在、来客者意識調査の分析が続行中であり、また留置アンケートの内容も再検討しているところです。中間報告会ではこの意識調査の分析結果を発表する予定です。

次回は1月28日(火) REF会議室の予定です。

水 12/10(火) REF会議室

歴史と計画の2班に分かれて話し合い、その後忘年会を行ないました。

'86 1/22(水) REF会議室

詳細な分担や作業フローを決めました。その概要は中間報告会で発表する予定です。

地 盤 '86 1/15(水) 福井大学福井(卓)研究室

中間報告会にそなえて、文章や図表の最終チェックを行ないました。

次回は1月25日(土) 福井大学福井(卓)研究室の予定です。

住

12月中は開催しませんでした。1月20日の週に集まり、中間報告会への対応を検討する予定です。

【国内研修会募集のお知らせ】

1. 研修地 : 秋田(秋田地域問題研究会との交流、降積雪地域の視察)
2. 研修期日: 昭和61年2月14日(金)～16日(日)
3. スケジュール

2/14(金)	23:07 福井発(日本海3号)
2/15(土)	8:39 秋田着 (現地視察) 空港、再開発、雪対策など 13:30 (交流会、意見交換) テーマ: 雪、空港 18:00 (親睦会…キリタンボを囲んで) (秋田泊)
2/16(日)	7:23 秋田発(白鳥) 16:00 福井着

4. 所要費用: 約27,260円(交通費)
5. 募集人員: 5～6人(先着順に締切ります)
6. 参加申込先: (財)地域環境研究所 南部まで ☎0776(27)0078

交通

『福井市の第3環状道路の整備に関する研究』と題して杉村氏が発表。同報告は、東京や大阪等の大都市を除いて整備が遅れている環状道路に注目し、その整備のための基礎的な検討として、福井市と同規模の地方都市を、それぞれの歴史的、風土的、社会的な条件などから類型化するとともに、ヨーロッパおよび福井の道路網の歴史をふまえて、第3環状道路の整備における効果を探るものである。

水

『水辺環境に関する調査研究(都市内小水路を例として)』と題して、田辺氏が発表。同報告は、これまで取りあげてきたテーマである水辺環境の中から、特に、都市部における小河川、小水路の環境をテーマとして、その環境整備のあり方や手法について、芝原用水を事例として取りあげ、検討を行なうものである。

住

広田氏より現在までの分科会内容を報告してもらいました。以下に、そのときの報告の一部を紹介します。
『何かはやりたいのだが、研究の方向が見えない状態です。』

中間報告会 開催!

第6期REF活動の中間報告会が、昭和61年1月30日(木)午後6時10分から、福井県職員会館401号室において開催されました。

同日は、司会者の中島氏の進行のもと、各幹事会報告(内容は、各分科会の記事を参照)、それに対する質疑応答が活発に行なわれ、その後、沢崎(幸)氏の司会に変わって懇親会に突入し、会員の親睦を深めました。

なお出席者は以下のとおりでした。

稲葉、加藤、北嶋、児玉、沢崎(幸)、本多(秀)、杉森、武井、竹内、田辺、塚本、富田、中田(治)、長村、広部、本多(義)、村松、山本、村本、渡辺、中島、鈴木、杉村、水野、大野木、金子、佐藤、古瀬、吉田、那須、伴舟川、三上(敬称略)

緑

『都市防火における緑の役割』と題して、中田(治)氏が発表。同報告は、まず緑のオープンスペース(公園、緑地)を都市防災施設としてとらえ、次に、都市防火計画区域として福井駅前周辺を候補にあげ、その区域の実態調査などから、防火マスタープランの整備方針や実現方策の検討を行なうものである。

土地利用

『レクリエーション施設としての商業空間について』と題して武井氏が発表。同報告は、最近の商業施設の郊外化とレクリエーション施設の併設化について、その現況分析と昨年行なわれたアンケート調査をもとに、考察を行なうものである。その結果、郊外型ショッピングセンターと駅前中心部では来街者の構成に大きな特徴があることなどが明らかとなった。

次回分科会日程

交通…2/26(水)、REF会議室
水…2/19(水)、REF会議室
住…未定
緑…未定
土地利用…2/21(金)、REF会議室
地盤…2/22(土)、福井(卓)研究室

地盤

『福井市街地の構造物支持地盤層分布』と題して、鈴木氏が発表。同報告は、前回の調査の延長として、福井市街地全域の支持地盤層を調査し、また、地層の推定のための弾性波探査法の検討と、地盤データベースの構築を行なうものである。

第三回 幹事会 報告

第三回幹事会が、昭和六十一年一月二十三日(木)午後六時五十分からREF会議室において開かれました。出席者は、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、長村氏(総務)、塚本氏(財務)、前川氏(交通)、竹氏(水)、武井氏(土地利用)、本多(秀)氏(地盤)、稲葉氏(談話会・広報)、村松氏(研修会)、福原氏(情報)、舟川君(広報)の十二名で、以下の事項を協議、了承しました。また、この日は、『秋田地域問題研究会』副会長の折田仁典氏(秋田高専助教授)がゲスト参加されました。なお、今回は三月二十七日(木)の予定です。

一、分科会中間報告会の開催について

* 当日の役割分担(受付、進行役など)が決まりました。(なお、詳細は別欄を参照)

二、秋田地域問題研究会との交流会について

* 研修期日、スケジュールなどの詳細が決まりました。(なお、募集案内は前号で報告済み)

三、次回談話会について

* 談話会の話題を、もっと全般的に広げてみてはどうかという提案があり、各幹事はいろいろな分野の方々に打診しているところです。(なお、次回談話会は、二月末から三月始めに開催予定)

四、理論研究会について

* 自然休会になりつつある理論研究会ですが、第六期後半からは代理幹事を決めて、その方を中心に開催してはどうかという提案がありました。

五、雑件

* ひとりの新入会友が承認されました。(詳細は前号で報告済み)

六、その他

* 海外研修会の参加者募集のお知らせ
* 『カナダ・バンクーバーEXPO86視察団』の内容変更について

今野福井医科大教授退官

福井県の地域振興に、またREF顧問として絶大な貢献をいただいていた福井医科大学今野修平教授が、今春、大阪産業大学へ転任されることになり、去る三月十二日(水)に、PUB『樽』において同教授の送別会が開催されました。席上、今野教授はこれからもREF顧問を続けると言明されました。なお、参加者は今野教授、栗田氏(県副知事)にREF会員およびIRE事務局十六名を加えた計十八名でした。(参加者は以下の通りです。敬称略)

：今野、栗田、富田、北嶋、本多(義)、児玉、加藤、長村、稲羽、奥居、中村、松本、村松、山本、村本、橋本、古瀬、南部

ところで、この突然の異動にREF会員の間では転任理由について諸説紛糾としていますが、世間ではこのような瓦版が広まっています。

司会 教授は福井に愛着があった筈だが？

記者A 世間に取り沙汰されているのでは、研究室が狭いため書籍が入りきらなくなったためだとされている。

記者B 不用の本はREF会議室に寄付しているくらいだから、それは違うと思う。むしろ市内の飲み屋で金を払ったことがないということだから、付けが溜まって身動きが出来なくなったのではないのか？

記者C あるコンサルの社員の話では、今野教授が福井に赴任してきてから、委員会や審議会へ社長の出る幕が少なくなったということだ。民間から働きかけがあったことも考えられる。

記者A 県関係からの情報だが、ある講習会で教授の講演中に為替レートでいちやもんをつけた職員がいたそう。こんな職員がいる県を相手にするのが嫌になったのではないかと、関係者は心配している。

記者C 県行政に対する教授の役割は大きかったからね。新聞記事によれば福井との縁は切らないと言われているようだが。

記者A 医科大時代も福井に滞在した時間は短かった筈だ。要するに、肩書きからは福井がとれたが、福井からは逃れさせられそうにないね。教授の益々の活躍を祈りましょう。(話の瓦版 創刊号より)

秋田交流会報告

一、日時：昭和六十一年二月十五日(土)
二、行動：午前には新秋田空港を折田氏の案内で視察。午後から夜に交流会。
三、会場：秋田市内みずほ苑
四、参加者

* 福井地域環境研究会：児玉、村松、橋本、井坂
* 秋田地域環境研究会：清水会長、折田副会長、山脇副会長、淡路幹事長はじめ約三十名
五、交流会次第等

①『秋田県における雪対策』
原田健司氏(県企画調整課補佐)
②『秋田新空港建設計画と利用の状況』
石田 修氏(県地域開発課補佐)
③『福井地域環境研究会の運営方法』
REF 児玉 忠氏

* 以上のような話題でそれぞれ報告した後、活発な討議が行われた。

六、謝辞：熱い歓迎をお受けしたことに對して、清水会長はじめ秋田地域環境研究会会員の皆様に、誌上を借りて厚く御礼を申し上げます。

七、その他
* 秋田地域問題研究会や本交流会の詳細については、REF6号に記載する予定。
* 交流会当日の会議資料等はREF事務局に備えておきますので、御参考にして下さい。

昭和60年度会費納入についての最後のお願い！！

年度末をむかえREF会員の会費納入につきましては皆様の御協力により、やっと健全財政への足掛かりをつかむところになりました。今後はスムーズなREF活動を行うためにも、会員各位のなご一層の御尽力をお願いします。なお、昭和61年3月15日現在の会費未納者は次のとおりです。

《会員番号》

102, 103, 116, 119, 122, 124, 126, 128
129, 130, 136, 142, 144, 147, 149, 152
201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208
209, 301, 303, 309 (____の方 は1年以上未納)

《納入方法》

1. 振込先 福井相互銀行 駅前支店
口座番号 3065738 塚本 勝典

2. 直接納入の場合は、(財)地域環境研究所(大名町ロータリー三谷ビル2階)南部 康江さんまで。

第三回 談話会告示

日時：四月十日(木) 午後六時三〇分
会場：福井県職員会館四〇一号室
講師：ピーター・アギュー氏

テーマ：『私が見た福井』
(福井県英語指導主事助手)

：福井とピッツフィールドを比較して、
積雪に対する住民の取り組み方、市民生活、
まちの構成など

◎プロフィール

・ピーター・アギュー氏(二十三歳)
アメリカ・ニューハンプシャー州ピッツフィールド出身。
昭和五十九年七月に来福、県内各地の中、高校で教鞭をとる。(現在、福井県英語指導主事助手)

DEPARTURE

記録的だった今年の積雪も春の日ざしとともにようやくなくなるうとしている今日このごろ、REF第6期活動もいよいよ終盤に近づいてきました。そんな忙しい折、4人の若者が福井大学大学院を修了し、分科会活動から離れることになりました。

まず、地盤分科会の市川氏は名古屋市の中央コンサルタンツに、交通分科会の金子氏は大阪市の日本情報サービスに、土地利用分科会の佐藤氏は名古屋市玉野総合コンサルタンツに、そして緑分科会の古瀬氏は東京の日本空港コンサルタンツにそれぞれ入社する予定です。それでは、4人からの簡単な挨拶をどうぞ。

市川氏

早いもので見知らぬ土地福井へきて6年、特に冬には今までに経験することが出来なかった数々の不思議に出会いました。(私は岐阜市の出身です。)

大学での学生生活と言いますと、夜の街は別として、とにかくキャンパスと下宿だけの“井の中の蛙”となりがちですが、幸いなことにREFの活動に参加させていただいたことにより、建設に関わる様々な職場の人達から有益なことができ、改めて建設業と地域がいかに強く結びついているのかという事を実感するとともに、常に広い視野で物事を見つめることの大切さを教わりました。

地元へ帰りまして、このREF活動での貴重な経験を生かし、仕事や諸活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

最後に、地盤分科会を始めとするREFの皆様には、あまりお役に立てなかったにもかかわらず、身に余るお導きをいただき、本当にありがとうございました。

金子氏

学部時代より2年余り、交通分科会で勉強させていただき、研究分野はもちろん人間的にも様々な視点から物事を観ることができるようになったのではないかと考えています。また、REFを通して、海外調査をはじめ様々な貴重な体験ができたことを感謝します。しかしながら、一方で、REFの皆様は自分の知らないところで御迷惑をかけていたのではないかと思ったりもしますが、その分は社会に出て頑張りたいと思います。

最後に、前川政人氏、稲葉隆夫氏など交通分科会の人や加藤哲夫氏をはじめREFの皆様が健康で、福井の発展に御貢献なさることを願っております。

佐藤氏

“福井の街から去ってしまう”という実感が最近になってやっとなってきたような気がします。思えば3年前、初めて講座というものに足を踏み入れ、それまでは講義という受け身の体制でしか学問を自分の中に収めることになかった自分には、自らの目的をもち、資料を捜し、研究していくというシステムが非常に新鮮に思えたのでした。しかし、もともと内気な性格であつた私にとって、例えば県庁へ資料を捜しに行くなどということは大冒険であり、あまり得意科目ではなかったのです。このような私に、都市計画の夢と情熱をたたき込んでくれたのが本多先生です。その生きざまは、何となく暗く内向的であつた私に対して人間改造のキッカケをつくってくれたような気がします。そして少しずつ変化していく自分に人間の様々な生き方のものの考え方を教えてくれたのがREFの皆様だつたと思うのです。意識調査、交通量調査、建物施設調査といった様々な調査から、何気なく街を散歩することまで、街の息づかい、そして活気、生きざま等の街の顔をみる目を教えてくれたコンサルタンツの皆様、わがままな資料の請求に対して、渋い顔ひとつせずに応じてくれた県庁、市役所、土木事務所の皆様、そして私達の研究に強く賛同してくれたその他の機関の皆様、本当にありがとうございました。

古瀬氏

REFでの2年間は実に短いものでした。しかし、この間経験し、学ぶことができた様々なことは、ありふれた学生生活では絶対に得ることのできない非常に貴重なものであつたと思います。中でも、多くの社会人の方と御一緒にさせていただいたいろいろな活動を通して、ものごとに対する様々な角度からの考え方や、何事にも満足することのない貪欲な探求心、そして将来、常に自己の目的をもってやっていけるという自信を得ることができたように思います。もちろん、まだまだ雪を被った竹の子ですが、このREFで得ることのできた多くの事を肥しに、春からは新天地で頑張っていきたいと思っています。また、今後機会があれば、諸活動に積極的に参加させていただきたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。

緑分科会の皆様をはじめ会員の皆様、本当にありがとうございました。

REF会員の皆様の御健康と御活躍、ならびに今後のREF活動のなお一層の発展をお祈り致します。

分科会だより

交通

2/26(水) REF会議室

各章の活動報告および今後の活動内容の検討を行い、その後、今春卒業する金子氏の送別会を行いました。また、この日は東京コンサルタンツ側の今度氏が入会希望者として初参加されました。

水

2/19(水) REF会議室

歴史班：『中部土木史』に投稿する原稿を、広部、加藤両氏が3章に分けて執筆しました。
環境班：芝原用水の現況(水質、景観など)をゾーン別に調査するための方法を検討しました。

住

活動なし

緑

活動なし

土地利用

2/21(金) REF会議室

留置アンケートの内容が決定し、まもなく実施する予定です。

3/7(金) 『KAWAI』

今春卒業する佐藤氏の送別会を行いました。

地盤

2/24(月)、3/12(水) 福井大学福井(卓)研究室

データベース班と物理探査班の2班を中心に作業を行っています。現在、データベースはほぼ完成しており、これにボーリング調査のデータを入力する状態となっています。また、関連文献の調査も同時に行っています。

第四回 幹事会 報告

第四回幹事会が、昭和六十一年三月二十七日(木)午後六時五十分からREF会議室において開かれました。出席者は、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、塚本氏(財務)、前川氏(交通)、武井氏(土地利用)、杉本氏(理論研)、村松氏(研修会)、舟川君(広報)の八名で、以下の事項を協議、了承しました。なお、次回は五月二十九日(木)の予定です。

- 一、秋田地域問題研究会との交流会報告
* 詳細はREF6号に記載する予定。
- 二、海外研修: 韓国都市調査: について
* 詳細は別欄を参照。
- 三、次回談話会及び理論研究会について
* 談話会: 四月十日(木)に開催。(別欄参照)
* 理論研究会: 四月二十四日(木)に開催予定。
(詳細は号外を参照)
- 四、REF概要紹介公式パンフについて
* 本会結成の趣旨、目的、事業内容等を掲載したパンフを現在作成中。
- 五、REFニュースの紙面強化について
* 皆様からの興味ある話題をお待ちしています。
- 六、REF財政状況報告
* 昭和六十年度会費未納者への対応について
- 七、土木学会関西支部共同研究グループについて
* 水分会が共同研究グループに応募予定。
- 八、雑件
* 会員の異動について(詳細は別欄を参照)

第三回談話会

開催される!

第三回談話会が、昭和六十一年四月十日(木)午後六時四十分から、県職員会館四〇一室において開催されました。

今回は、現在、福井県英語指導主事助手であるピーター・アギュー氏、通訳として県立高志高等学校教諭の馬場茂雄氏をお招きして、『私が見た福井』: 福井とピッツフィールドを比較して: という題でお願いしました。なお、参加者は以下の方々です。敬称は略させていただきます。

児玉、加藤、長村、稲葉、杉本、中田(治)、万匠、前川、渡辺(知)、杉村、今度、三輪、八幡、那須、伴、舟川、三上、斉藤

ピーター・アギュー氏の故郷であるピッツフィールドは、北海道とほぼ同緯度に位置しているため冬の寒さが非常に厳しく、雪が福井の重い雪と違って軽量であるため、除雪対策や暖房設備も福井とはかなり異なっているようでした。また、日本の自動車が輪だちを器用に走っているのを見て、非常に驚いておられたのが印象的でした。ところで、何よりも参加者たちが驚いたのは土地の安さです。平均的な労働者でも町の中心部で約六〇〇坪郊外へ行くと六〇〇坪もの敷地をもち、地価は高くても二〇〇〇万円は超えないということを知り、アメリカのスケールの大きさと同時に日本の住宅事情の悪さを再認識させられました。

《最後に》

ピーターさんは顔じやうに髭をたくわえていて、とても二十三歳(私(舟川)と同年齢)とは思えない風貌でした。しかし、中学・高校で教鞭をとっているせいか、非常に簡単な単語を選んで話をされていたのが、とても印象的でした。(なお、ピーターさんは近いうちに日本人の女性と結婚されるそうです。独身男性は、独身女性がまた一人いなくなるということで、うかうかできませんね!.....広報部より)

NEW FACE 紹介

昭和六十一年三月二十七日に開かれた第四回幹事会で、左記の方々の入会あるいは会友への変更が承認されました。

記

- 一、新規入会(敬称略)
 - 三上 英道: 福井県総務部企画室
 - 今度 充之: 福井市大手三十七ー一
 - 三輪 裕一: 東京コンサルタンツ福井事務所
 - 八幡 智和: 福井市御幸二二十五ー八
 - 城下 裕子: 三和測量建設
 - 金沢市片町一六ー一三
 - 二、新規学生会員入会(敬称略)
 - 斉藤 浩幸: 福井大学大学院工学研究科
 - 福井市文京三一九ー一
 - 三、会友への変更(敬称略)
 - 村本 清美: ブラジル留学
 - 金子 浩明: 日本情報サービス
 - 佐藤 秀樹: 大阪市西区土佐堀二二七
 - 古瀬 東: 玉野総合コンサルタント
 - 名古屋市中村区竹橋町四一五
 - 東京都港区虎ノ門二二二ー三三
 - 第十八森ビル
- * 昭和六十一年四月現在、会員・学生会員・会友数
- | | |
|------|--------|
| 会 員 | : 五十九名 |
| 学生会員 | : 六名 |
| 会 友 | : 十五名 |
| 総 数 | : 八十名 |

話題あれこれ

前号では、四人の大学院修了生たちの新たな旅立ちに話題をひろって見ましたが、今回は勤務先と海外研修の話題について報告します。

まず四月は特に公務員の異動の時期ということで、本会員の中でも八人の方々の異動がありました。住分科会の小林氏は県営繕課から県建築課審査指導係長に、交通分科会の杉森氏は武生土木事務所から敦賀土木事務所道路維持課専門員に、緑分科会の竹内氏は福井土木事務所から県監理課に、水分科会の塚本氏は県河川開発課から武生土木事務所主査に、住分科会の万匠氏は三国土木事務所から県計画課都市施設係長に、広瀬(広)氏は大野土木事務所から県道路建設課に、交通分科会の山本氏は鯖江土木事務所から小浜土木事務所工務課長に、水分科会の大野木氏は県耕地地課から南越耕地事務所専門員にそれぞれ異動されました。

また、数少ない女性会員として交通分科会で活動されてきた(財)地域環境研究所研究員の村本嬢が、かねてからウワサのあったブラジルのサンパウロ州立大学建築都市学科で研究生として勉強されることになりました。何かと苦労すると思いますが、頑張ってください。

次に、第五回海外研修会(韓国、八月上旬予定)の募集締切が迫っています。先日配布した参加アンケートの結果、現在のところ参加希望十名、保留七名となっています。五月初めには調査団を結成したいと思っていますので、まだアンケートを返送されていない方(全体の3分の1)および保留で返送された方は、**四月十七日**までに参加・不参加を御連絡下さい。

連絡先：(財)地域環境研究所 南部まで
☎〇七七六―二七―〇〇七八

最後に、村本嬢からの簡単な挨拶をどうぞ。

サンバ、日本の裏側の国、リオのカニバル、アマゾン川、金鉱掘り。あなたはブラジルに対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。日本から最も遠い国であるブラジルには日系人は約八十万人もいるといわれています。そして、かの有名な福井村もあります。でも、私達はブラジルの本当の姿を知りません。外国人が日本に対して偏ったイメージをもつように、私達もブラジルをかなり偏った視点で眺めています。そうした意味でブラジルは遠くて近くて、やはり遠い国という気がします。いろいろな人に会い、いろいろな都市を農村をみてこようと思っています。そして、皆さんに少しでも本場のブラジルの姿をお伝えできればと。

私が入る予定のサンパウロ州立大学建築都市学科では、「学ぶこと」「イコール」「働くこと」のようです。というのは、学生の研究は国や州の予算でされるのですが、実際のプロジェクトとして役立つものにしか予算がつきません。したがって、それにふさわしいテーマを提出しないかぎり論文も書けず、卒業もできないということです。そして、学生のほとんどは職業を持っていますか、何年かの職業生活の後、大学に入った人達だそうです。このような厳しい状況のもとで学生生活はきつと私にたくましさをもたらしてくれると信じています。

五月十九日、未来を紡ぐ国、ブラジルに向けて旅立ちます。 Ob rig ada e Ade us!

第一回 理論研究会 告示

日時：四月二十四日(木)午後六時三〇分
場所：REF会議室
テーマ：都市供給処理論
―都市計画と情報ネットワークシステム―
発表者：杉本 敬一 氏(三和測量建設㈱)

会費納入のお願い

前号でもお知らせしましたが、REF会費の未納者は至急お払い込み下さるようお願いいたします。
振込先 福井相互銀行 駅前支店
口座番号 三〇六五七三八 塚本勝典
・直接納入の場合は、(財)地域環境研究所 南部まで

分科会だより

交 通 4/17(木) REF会議室 各章の活動報告および今後の活動内容の検討を行う。 この日は福井大学大学院の斉藤君が入会希望者として初参加しました。 次回は、5月8日(木) REF会議室の予定です。	緑 活動なし 4月中に、開催予定。
水 3/19(水) REF会議室 歴史班：『中部の土木史』に投稿する原稿が完成。現在、最終仕上の段階です。 環境班：芝原用水の、①水質調査(5～6地点)、②周辺状況調査、③周辺意識調査方法を行う。 次回は、4月23日(水)の予定です。	土地利用 4/21(月) REF会議室 アンケートの収集状況の確認を行い、次に報告書の概略を検討しました。 次回は、5月16日(金)の予定です。
住 活動なし	地 盤 活動なし 毎月、第2水曜日に開催予定。

お知らせ

I. IREF設立1周年記念シンポジウム実施について
真に地域にマッチした計画哲学、計画理論を探求、
討議することにより、地域環境創造に寄与するとともに、
設立1周年を迎えた(財)地域環境研究所の存在をPR
するため、記念シンポジウムを企画準備しています。
詳細は次号で報告します。

日時: 昭和六十一年七月十九日(土)午後一時
会場: 福井商工会館
参加人員: 約二〇〇名

II. RREF海外研修結団式について
韓国調査団の結団式を左記の要領で予定しています。
日時: 五月二十八日(水)午後六時三〇分
会場: 福井大学交通計画研究室

お詫び
前号の話題あれこれ“緑分科会の竹内氏”とあり
ましたが、“地盤分科会の竹内氏”の誤りでした。訂
正してお詫びいたします。

*メイン・テーマ『アクティブ・スペースFUKUI』
*基調講演(仮題) 米倉 齊加年氏
「地方都市の魅力」「旅行者からみた福井市」

第1回 理論研究会報告

4月24日(木)午後6時30分～ 場所: REF会議室

出席者…児玉、加藤、杉本、前川、石森、那須、伴、舟川、三上

開店休業状態であった理論研究会ですが、この度、「都市供給処理論…都市計画と情報ネットワーク…」(担当: 杉本氏)というテーマで再開されました。

従来、“都市供給処理”という単語は上下水道、廃棄物処理、エネルギーなどを対象に用いられてきましたが、電気通信事業法の制定(昭和61年4月1日施行)による通信事業の市場開放を契機に、情報通信界における都市供給処理が急激にクローズ・アップされてきています。

今回は、既に高度情報化の波にうもれつつある状況の下で、活発な意見が交わされました。

第2回 理論研究会報告

5月22日(木)午後6時45分～ 場所: REF会議室

出席者…本多、児玉、加藤、前川、石森、那須、伴、舟川、三上

今回は、「日本の自我」(南 博著、岩波新書刊)をテキストに、前川氏が発表されました。

(ヨーロッパでは、個人主義、合理主義に根ざした市民社会が形成された。しかし日本では、江戸期の封建的身分社会から幕末・明治維新时期にかけて、政府の弾圧・封印により自我形成が挫折し、その結果、家族主義国家が成立した。これにより、日本的集団主義が生まれ、…うんぬん)といった内容から、どのように、“地域環境問題”へと結び付けていくのか非常に混沌としていましたが、加藤氏から「用地買収に伴う役所の根まわし…」発言が出て、今回は一件落着といったところでしょうか。

次回は、6月26日(木)の予定です。

分科会
だより

交通 5/8(水) REF会議室

総会に向けての最終チェック、および各章の分担を決めました。(各章の分担は以下の通り)

1. わが国の環状道路の整備状況 ……今度、山本
2. 道路網と地域性 ……稲葉、舟川
3. ヨーロッパの都市道路網 ……前川
4. 福井の道路網の歴史 ……杉村
5. 環状道路と土地利用の関連 ……齊藤
6. 冬期幹線システム ……舟川、杉森

次回は、6月12日(木) REF会議室の予定です。

水 4/23(水)、5/21(水) REF会議室

報告書の章だてと各章の分担を決めました。また、去る5月5日に行われた芝原用水の現況調査(なんと全員出席だそうです。)の写真(100枚)およびヒアリング調査の調査票(24票)を整理しました。(章だてと分担は以下の通り)

1. はじめに ……長村
2. 歴史 ……広部
3. 現況 ①横断形状、植栽、景観 ……田辺、塚本、大野木
- ②水質 ……竺
4. 住民意識 ……水野、福原
5. まとめ ……加藤

次回は、6月18日(水) REF会議室の予定です。

住 休 会

緑 活動なし

5月27日(火)に開催予定。

土地利用 5/21(水) 福井大学交通計画研究室

留置アンケートの集計結果を確認し、各章の目次決定および内容を検討しました。

次回は、6月17日(火) REF会議室の予定です。

地盤 5/14(水) 福井大学福井(卓)研究室

各班の活動報告と今後の予定を決めました。

〈物理探査班〉

- ・5/24以後の土曜、日曜に実験を予定。
- ・5/23他数回、物理探査についての勉強会を開講。

〈データベース班〉

- ・データ入力が行進中…入力者募集中!
- ・低位の関数のドキュメンテーション作成。

次回は、6月11日(水) 福井大学福井(卓)研究室の予定です。

第五回 幹事会 報告

第五回幹事会が、昭和六十一年五月二十九日(木)午後六時四十五分からREF会議室において開かれました。出席者は、本多(義)氏(副会長)、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、長村氏(総務)、前川氏(交通)、中田(治)氏(緑)、武井氏(土地利用)、本多(秀)氏(地盤)、杉本氏(理論研)、稲葉氏(談話会・広報)、村松氏(研修会)、福原氏(情報)、舟川君(広報)の十三名で、以下の事項を協議、了承しました。なお、次回は七月十六日(水)の予定です。

- 一、第七回REF総会開催日程等について
* 開催日：七月二十二日(火) 午後六時
* 場所：県職員会館(予定)
* 活動報告会(発表 一〇分、質疑 三分程度)
- 二、REF第6号の編集発行について
* REF第6号の編集委員会を発足。詳細は下段。
- 三、海外研修：韓国都市調査について
* 調査団結団式(五月二十八日)の報告(村松氏)
- 四、規約改正について
* 旅費の補助金(二万円程度)の提案(児玉氏)
- 五、次回談話会及び理論研究会について
* 談話会：現在、イギリスのシェフィールド大学の修士課程で造園デザインを専攻されている、ジェラルディン・フランシス・ドノバン嬢を講師として予定。(日程・その他は未定)
* 理論研究会：六月二十六日(木)に開催予定。
- 六、財政状況等について
* 会費未納者について、退会意志の確認。
- 七、会員の異動等雑件
* 新規入会者を幅広い分野から募集しています。
- 八、IRE関連事項

REF第6号 編集委員会報告

第一回編集委員会が、昭和六十一年六月五日(木)にREF会議室において開かれました。出席者は、編集委員長 稲葉氏(談話会・広報、交通)、中田(治)氏(緑)、中島氏(地盤)、福原氏(情報、水)、舟川君(広報、交通)の五名で、編集内容を左記のように決定しました。次回は七月一日(火)の予定です。(下段の括弧内は予定ページ数)

- 一、巻頭言：児玉幹事長 (一)
- 二、特別寄稿：本多副会長
『北陸地方における今後の交通・通信ネットワークのあり方』 (七)
- 三、活動報告
* 分科会 * 理論研究会 (三)
* 談話会 * 研修会
* 総会 * 幹事会
* 中間報告会
- 四、海外視察報告
『香港・中国都市調査報告書』より (七)
- 五、研究報告
* 交通 * 水 (十二×五)
* 土地利用 * 地盤 * 緑
- 六、規約 (三)
- 七、会員名簿 (八)
- 八、第6期役員名簿 (二)

第6回総会 告示

日時：七月二十二日(火)
場所：福井県職員会館

『交通工学』 絶賛発売中!

竹内伝史・本多義明・青島縮次郎 共著
鹿島出版会 定価二九〇〇円

お知らせ

ブラジルへ留学された村本清美嬢の連絡先です。

Miss. Kiyomi Muramoto
c/o Katsuhiko Hibino
R.Eudoro Lincoln Berlinck,354
Jardim Arpoador Buntantan -CEP05565
São Paulo -SP- BRASIL

第3回 理論研究会報告

6月26日(木)午後7時～

場所：REF会議室

出席者…加藤、杉本、前川、稲葉、石森、舟川、三上

今回は、「都市災害の科学」(安倍北夫・秋元律郎編、有斐閣選書刊)をテキストに、加藤氏が発表されました。

まず、都市災害の特質、問題性、そして都市機能の損傷によるライフラインの重要性を述べ、つぎに、現在の高次・複合化した都市機能が災害に弱いことを指摘し、ライフライン被害の対応策と課題について話し合いました。さらに、日本人の持つ災害観が災害意識、災害観、基本的価値の3層より構成され(よくわからない?)、その形成が風土論に根ざしていることなどを述べました。最後に、天道説的災害観から地道説的災害観への歴史的な移行、そして日本人は自然と巧みに折り合う、独特で楽観的な災害観を持っているという結論に達しました。

第6期の理論研は今回で終了でしたが、この後、加藤氏より学生会員の発言不足について指摘され、学生会員にとっては痛い所をつかれた思いでした。

第七回総会 開催される

第六期活動をしめくり、次期活動計画を討議する第六期分科会報告会および第七回REF総会が、七月二日(火)県職員会館において開催されました。まず、報告会が午後六時より総合司会の川村氏による開会の辞で始まり、幹事長挨拶の後、橋本氏(地盤)の司会により各分科会報告が行なわれました。交通分科会は前川氏、水分会は竺氏、緑分科会は杉本氏、土地利用分科会は沢崎氏、地盤分科会は吉田氏が発表し、それぞれの報告について活発な質疑応答がなされ、研究内容の濃さがうかがわれました。

続いて、八時三十分より総会に移り、開会の辞、会長挨拶、会友祝辞(長谷川氏、大日本コンサルタント)、新入会員紹介、会員等異動報告、児玉氏による第六期活動報告、議長選出(高嶋氏)と続き、議決事項四件が提案され、承認されました。(以下にその内容を記載)

その後、第七期活動方針が行なわれ、幹事長の児玉氏による決意表明と、理論研究会、談話会、研修会の活動についてのアウトラインが各幹事により説明されました。またそれから、懇親会が催され、各分科会の活動方針が分科会長により発表されるなど、非常に盛り上がった会でした。

〈議決事項〉 …… 全て可決されました。

規約改正

第4章第6条

(1) 副幹事長 …… 2名以内

第七期役員案(敬称略)

会長 富田伊太郎
副会長 北嶋重昭、本多義明
幹事長 児玉 忠
副幹事長 加藤哲男、前川政人(地域交流担当)
幹事 長村一男(総務)
" 塚本勝典(財務)
" 稲葉隆夫(交通)

第6期決算報告

収 入		支 出	
費 目	決 算	費 目	決 算
正 会 員 会 費	664,000	分科会活動助成金	80,000
学 生 会 員 会 費	49,000	理論研究会助成金	0
会 友 会 費	48,000	談話会助成金	36,839
中 間 報 告 書	45,000	研 修 会 助 成 金	20,000
総 入 金	65,000	機 関 誌 印 刷 費	257,600
繰 上 金	-83,941	中 間 報 告 会 費	89,461
預 金 利 子	1,941	総 会 費	139,510
寄 付 金 そ の 他	2,000	事 務 費	74,752
会 費 未 納 金	308,000	予 備 費	0
合 計	956,960	積 立 金	178,059
		合 計	876,221

繰入金 = 956,960 - 876,221 = 80,739

監 査

福原輝幸(水)
高嶋 猛(緑)
武井幸久(土地利用)
橋本栄治(地盤)
石森信敏(理論研)
中田治和(談話会)
杉原忠弘(広報)
川村一治(研修会)
村松俊明(情報、渉外)
竹内成和(総務支援)
渡辺知幸(財務支援)
杉本敬一(談話会支援)
斉藤浩幸(広報支援)
山本 迪

第7期予算案

収 入		支 出	
費 目	予 算	費 目	予 算
会 員 会 費	926,000	分科会活動助成金	180,000
繰 上 金	80,739	理論研究会助成金	30,000
預 金 利 子	1,761	談話会助成金	80,000
寄 付 金 そ の 他	2,000	研 修 会 助 成 金	50,000
会 費 未 納 金	132,500	機 関 誌 印 刷 費	228,000
合 計	1,143,000	会 議 費	250,000
		事 務 費	142,500
		予 備 費	50,000
		積 立 金	132,500
		合 計	1,143,000

韓国都市調査団 無事帰国!

去る八月十日、本多氏(交通)を団長とする韓国調査団が、すべての日程を消化して、無事帰国した。今回は、斉藤も参加したわけですが、何といってもタクシー、バスの多さとキムチに圧倒されました。また、帰りの飛行機ではエアポケットですごい揺れを体験し、飛行機恐怖症になってしまった人もいます。
というわけで、8月およびスライド試写会を九月三日(水)六時三十分より本多研究室で行ないますので、はやく見たいかたは振るって御参加下さい。なお、公式映写会は談話会で行なう予定です。

お知らせ

今回の役員改選により、前広報の稲葉、舟川氏両名から、杉原、斉藤が広報を担当することになりました。何分、不慣れなこと、不備な点もあるかと思いますが、何かお気付きの点や、要望、掲載記事等がありましたら、どんどんお知らせ下さい。

REF 求人ニュース

理論研究会 スタッフ急募（見習可）数名

一緒に、REFのトワイライトゾーンを
再開発してみませんか！！

- ・ 未経験者歓迎（軽作業です。誰にでもすぐできます。）
- ・ 年齢、学歴、性別 不問
- ・ 社内規定により高級優遇しません。
- ・ 委細面談

TEL <0776>21-1111 内線2333 石 森

第二回 幹事会 報告

第一回幹事会が、昭和六十一年九月二十五日(木)午後六時四十分からREF会議室において開かれました。出席者は、本多(義)氏(副会長)、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、前川氏(副幹事長)、長村氏(総務)、稲葉氏(交通)、武井氏(土地利用)、橋本氏(地盤)、石森氏(理論研)、中田氏(談話会)、杉原氏(広報)、川村氏(研修会)、村松氏(情報、渉外)、斉藤(広報支援)の十四名で、以下の事項を協議、了承しました。なお、次回の幹事会は、十一月六日(木)に開く予定です。

一 第七期REF運営基本方針について
* 幹事会は二カ月に一回のペースで開催。
* もっと活発で充実した活動を行い、新しい会員、新しい分科会も検討してマンネリを打破したい。

二 各業務執行基本方針、年間計画、及び当面の行事予定について
* 各分科会報告
* 理論研究会
* 毎回参加者が少ないので、各分科会二名程度出席してもらいたい。第一回 十月七日開催。
* 談話会
* 第七期に三、四回実施したい。第一回は、十月二十四日(金)にDONOVANさんを講師に迎えて開催する予定。

* 広報
* ニュースソースの協力をお願いします。
* 研修会
* 来年の海外研修会、国内研修会について。
* 財務
* 分科会助成金は十二月中に申請してほしい。

三 REFパンフ、封筒等について
* REFパンフを千部程度作成し、また封筒も作成する予定。

四 会員の入退会等雑件

五 その他

* 地方都市問題研究会のシンポジウムが昭和六十二年六月十八、九日に開催される予定。

第一回 理論研発表会

第一回理論研究会が、昭和六十一年十月七日(火)午後六時三十分からREF会議室において開かれました。出席者は石森氏、本多(義)氏、加藤氏、前川氏、関野氏、村田直美嬢(オブザーバー、福井大学四年)、斉藤の計七名で、今後の方針、内容等を話し合いました。今回のテキストは「行動空間へのマーケティング」(誠文堂新光社)が選ばれ、この本をもとに進めていく予定です。なお、次回は十一月十九日(水)午後六時三十分からREF会議室で開催する予定です。今回参加しなかった人でも興味を持たれた方は、どんどん気軽に参加して下さい。

国内研修会 参加者募集!!

昨年度の秋田に続き、今年度も以下の予定で研修会を企画しました。参加希望者は川村(連絡先 三和測量建設 ☎ 0776-13612790)まで、ご連絡下さい。予定人員は五、六名です。

行先: 静岡市(静岡環境文化研究会)

日程: 十一月二十一日(金) 午後 出発(福井)

二十二日(土) 夜 前記研究会との交流

夜 都市視察(清水港)

夜 懇親パーティ

二十三日(日) 午前 帰福

この日程については、二十二、二十三日の一泊二日の場合も考えていますので、ご都合の良い方をお知らせ下さい。

交通機関: 加藤氏のワゴン車(七人乗り)で移動。

費用: 未定(交通日若干、宿泊費、パーティ費)

なお、REFから若干の補助を予定しています。

第1回 談話会 告示

日時: 10月24日(金) PM6:30~8:00

場所: 福井県職員会館 201

講師: GERALDINE FRANCES DONOVAN

テーマ: ① LANDSCAPE DESIGN TAUGHT AT SHEFFIELD UNIVERSITY
② COMMUNITY DESIGN PROJECT
③ BRITAIN, TOKYO AND FUKUI CITY, A COMPRESSION OF NEW IMAGE

スライドを交えながら講演、その後、意見交換等を行う予定。

コーヒー代、参加費 ... 会員 無料
非会員 1,000円

履 歴 書

氏 名: GERALDINE FRANCES DONOVAN
現住所: 56, GUEST ROAD, HUNTER'S BAR,
SHEFFIELD S10 8UJ, SOUTH YORKSHIRE
UNITED KINGDOM
TELEPHONE (0742) 664297
生年月日: 1961年5月26日
年 齢: 26歳
国 籍: WELSH
結 婚 歴: 独身
性 別: 女性

学 歴

1968-1977 OUR LADY'S CONVENT SCHOOL (CARDIFF)
1977-1979 HAWARDIAN HIGH SCHOOL (CARDIFF)
1979-1980 RUMNEY INSTITUTE OF HIGHER TECHNOLOGY
1980-1983 UNIVERSITY OF WALES (ABERYSTWYTH)
1984-1986 UNIVERSITY OF SHEFFIELD (SHEFFIELD)
修士課程、造園デザイン専攻

REF 財政事情

会費納入につきましては、前期より県庁が、今期より三和測量建設がそれぞれ給料天引きにて処理することになり、比較的定常的にお金が入ってくるようになりました。そのため、天引き以外の会員の人は少し会費が滞納しますと非常によく目立つ現象が生じてくるわけであり

ます。そういった点をよく認識していただきまして今期も会費納入の件よろしくお願い致します。

” 今年では会員番号の発表なんてやりたくないなあ…！ ”

【納入方法】

1. 銀行振込
福井相互銀行 駅前支店
口座番号 3065738 塚本 勝典
2. 直接納入の場合は
(財) 地域環境研究所 (大名町ロータリー 三谷ビル2階) 南部 康江さんまで

分 科 会 だ よ り

交 通

9/25(木)、10/1(水) REF 会議室

今期の研究は、前期の第3環状について具体的な提案を行い、第3環状道路の基本構想を検討する。

【仮題】 福井市の第3環状道路の基本構想

- 【目次】
1. 福井の街道史
 2. 他都市の環状道路の事例
 3. 福井都市圏の将来展望
 4. 第3環状道路の基本構想

次回は、11月13日(木) REF 会議室の予定。

緑

未 定

土地利用

9月12日(金) REF 会議室

今期の基本方針として都市的魅力について検討。

次回は、11月5日(水) に行う予定。

水

9/10(水)、10/15(水) REF 会議室

土木学会共同研究グループ関西支部として「福井地方における土木計画の土木史的評価に関する研究」というテーマについて2年計画で研究を行うことに決定。今期はその骨組として、芝原用水、九十九橋、計画案のあった地方鉄道についての歴史的な文献調査や、土木計画に携わっている人へのヒアリング、住民へのアンケート調査等を行う予定。

次回は、11月12日(水) に行う予定。

地

盤

9/10(水)、10/8(水) 福大福井(卓)研究室

今期も前期同様に三班体制で研究を進め、これまでの研究の総まとめを行う。地盤のデータを得るために10月中に弾性波探査を行う予定。

次回は、11月12日(水) に行う予定。

NEW FACE 紹 介

関野 優 氏
交通分科会
福井県土木部計画課
福井市大手3-17-1

今川 直樹 氏
福井県県民生活部総合交通課
福井市大手3-17-1



第二回 幹事会 報告

第二回幹事会が、昭和六十一年十一月六日(木)午後六時五十分からREF会議室において開かれました。出席者は、本多(義)氏(副会長)、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、前川氏(副幹事長)、長村氏(総務)、橋本氏(地盤)、石森氏(理論研)、中田氏(談話会)、杉原氏(広報)、斎藤(広報支援)の十名で、以下の事項を協議、了承しました。なお、次回の幹事会は、昭和六十二年一月二十二日(木)に開く予定です。

一 REFパンフレットの発行と利用について

* パンフレットと小封筒ができたので有効に利用してもらいたい。

二 次回談話会、理論研究会について

* 談話会

十一月二十六日(木)に中部大学の竹内伝史先生を講師に招いて、「カナダ大陸横断鉄道を行う」というタイトルで開催。

* 理論研究会

次回は十一月十九日(水)に開催。前回参加者が少なかったため、もっと参加してほしいとのことであったが、結果は七名と前回と同じであった。

三 第七期REF中間報告会日程等について

* 昭和六十二年一月二十九日(木)に開催することと決定したが、場所、時間等については未定。

四 REF会計状況と会費請求について

* 県庁、三和測量建設(株)以外の会費の集まりが非常に悪いので、各個人宛にダイレクトメールで請求を行なう。

五 静岡環境文化研究会との交流会計画について

* 十一月二十二、三日に決定。メンバーは加藤氏、児玉氏、万匠氏、近藤氏、斎藤の五名。

六 会員の移動等雑件

* 商工会議所の浅井氏が入会を希望。

七 その他

* 三地域研究会 十一月二十二、三日に名古屋で会議。

* 土木計画学シンポジウムについて

* 海外研修の行き先の決定を中間報告会で決定。

第二回 理論研究会 報告

第二回理論研究会が、昭和六十一年十一月十九日(水)午後七時からREF会議室において開かれました。出席者は石森氏、本多(義)氏、加藤氏、児玉氏、笹木氏、村田直美嬢(オブザーバー、福井大学四年)、斎藤の計七名で開催されました。今回の発表者は石森氏と村田嬢で、第一章の美化市場のマーケティング、第二章の市場の地域的固有化と街のイメージ、について討論がされました。なお、次回は昭和六十二年一月十四日(水)午後六時三十分からREF会議室で開催する予定です。今回参加しなかった人でも興味を持たれた方は、どんな気軽に参加して下さい。

国内研修会報告 (静岡岡)

一日 時：十一月二十二、三日(土、日)

二 行動：二十二日 午後から交流会の後、懇親会

三 会場：静岡県職員会館

四 参加者：静岡環境文化研究会

(人間居住社会研究会)

(かわを考える会)

五 交流会次第等

① REFの概要

② 人間居住社会研究会の概要

活動等説明

静岡県の街並み調査について

③ かわを考える会の概要

④ 静岡環境文化研究会の概要

* 以上のような話題でそれぞれ報告した後、活発な討議が行なわれた。

第一回、第二回 談話会 開催される

第一回談話会が、昭和六十一年十月二十四日(金)午後六時四十分から、県職員会館二〇一室において開催されました。

今回は、シェフィールド大学で造園デザインを学んでおられるフランシス・ドノバンさん、通訳として福井大学渡辺孝子先生をお招きしてシェフィールドと日本の比較やコミュニケーションデザインサービス等についての講演をお願いしました。参加者は十七名でした。(裏面へ)

六 謝辞：厚い歓迎をお受けしたことに對して、静岡環境文化研究会会員の皆様に、誌上を借りて厚く御礼を申し上げます。

七 その他
* 交流会当日の会議資料等はREF会議室に備えておきますので、御参考にして下さい。

TITLE

SHEFFIELD, THE COMMUNITY DESIGN SERVICE
AND DESIGNING FOR THE DISABLED

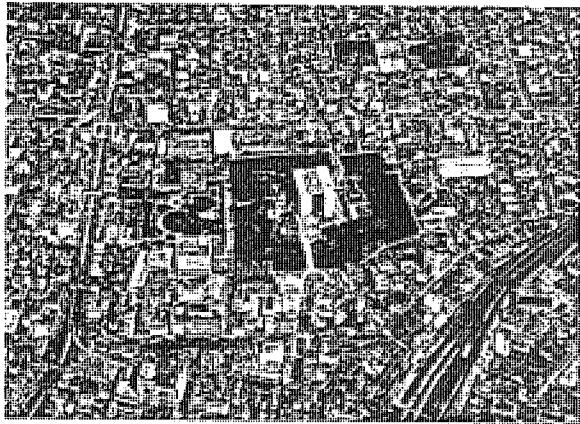
- I. General Introduction : Sheffield and The University of Sheffield
- II. Victorian Parks
 - Western park
 - Endcliffe park
 - Graves park
- III. Designing For The Disabled
 - A. The Different Attitude Towards Integrating The Disabled Into The Community
 - CASE STUDY: Oaks Park Soecial School, Sheffield
 - B. Community Design: My Experience in Community Design Service
- IV. Analysis of Japanese Park Situation

地域と環境 発刊される

財団法人地域環境研究所の機関誌『地域と環境』の創刊号が発刊されました。1部200円でお渡ししております。お問合せはIRE事務局まで。

地域と環境

創刊号 1986.3



財団法人 地域環境研究所事務局
〒910 福井市中央3-1-5 三谷ビル204
TEL 0776-27-0078

皆様からの原稿を
お待ちしております。

広報

秋田と福井は距離もさることながら時間的に極めて遠い。直通の便は、10時間の特急が2本。お急ぎの人は東京か名古屋まで空を飛ばねばならない。そんなこともあって、最近

- ② 長岡市
- ③ 秋田市（駅前）
- ④ 新潟市（古町）
- ⑤ 秋田市
- ⑤ 福井市（駅構内）
- ⑦ 新潟市（ 〃 ）
- ⑦ 秋田市（ 〃 ）

の街の様子などを見るため、帰路は時刻表を見ながら途中下車した。その時のランク付けは左表の通りであるが、実はこれは旅行の間、自分が食したソバの味。

念のため、福井の味を確かめたところ、嘘いつわりなく1位にランクされること間違いない。

第二回談話会が十一月二十六日（水）午後六時五十分から県職員会館二〇一号室で開催されました。第二回の講師は中部大学教授の竹内伝史氏をお招きして、バンクーバーからトロントまでの約三千キロにおよぶカナダ大陸横断旅行記および周辺の四市（トロント、オタワ、モントリオール、ケベック）の都市交通視察についての講演をお願いしました。参加者は十六名でした。

当日はスライドを使つての講演でしたが、トロントの地下鉄、LMによるLRT、バスおよびそれらの接続がすばらしく計画されていることや、モントリオールの立派なトンネルの地下鉄など日本などとは比べようが無いものでした。日本でも部分的にでも取り入れられたら、と思います。

投稿 原稿

近況報告

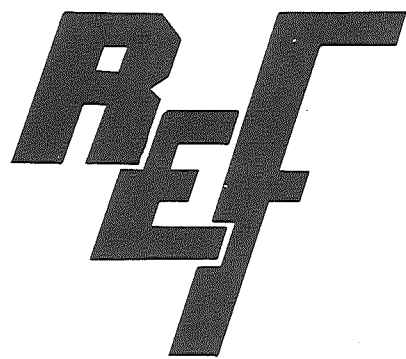
敦賀土木事務所 杉森正義

10月19日～21日、久しぶりの県外旅行、秋田。61年度日本雪氷学会を覗いた。雪氷学会は字句の通り雪と氷に関する者の集まりで、極地から森林、交通までバラエティに富んでいて、なおかつ、基礎から実際面まで多様である。基礎研究では氷の物性や、宇宙空間の氷の話などわれわれには縁遠い。

実際面で最近関心が高いのは屋根雪処理の問題。一つには、日本建築学会で雪荷重の再検討がなされており、雪氷学会の会員でもある福井工大の前田先生らが作業を進めていることと、もう一つは雪国の建物は陸屋根に限るという設計やさんらの盛んなPRがあるからである。

風の強い東北・北海道では、従来の山形屋根よりも陸屋根は雪の堆積が少なく、また、生活の温熱を有効に利用すれば、雪おろしの必要がなくなるという訳である。

福井では即有効かどうかは別として、小形除雪機がいろいろ開発されていることなどから、雪おろし労力の軽減という方向で検討されていいのではないだろうか。



基本テーマ『地方都市の名誉と未来のために』

いま、政治権力のみならず、経済、情報、文化等のあらゆる分野において、東京集中現象が加速されるとともに、全国の地方都市は、東京を頂点としたヒエラルキーに組みこまれ、その秩序はますます強固になろうとしている。このような現状を打破し、地方都市の名誉を守り、その再生への道を探らんとするものである。

REF結成10周年記念講演会

日時

平成元年11月11日(土) 午後2:00～7:00
(開場 午後1:30)

会場

福井市民福祉会館大ホール (第二部は3F 301)

内容

〈第一部〉 講演 (定員500名、入場無料) PM2:00～4:50

1. 演題: 「地方都市文化の再興」(仮題)

講師: 野坂昭如氏(作家)

2. 演題: 「地方都市整備への提案」

講師: 依田和夫氏(住宅・都市整備公団 理事)

〈第二部〉 ほろよい討論会 (定員100名 参加費2千円) PM5:00～7:00

ばねらあ
講師: 依田和夫(上記)

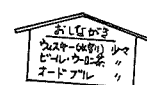
橋詰武宏(福井新聞政経部長)

白井淳夫(ジャズパブ経営)

伴藤真理子(アイビー学院総括部長)

佐々木哲夫(今立町役場勤務)

座長: 本多義明(福井大学工学部助教授)



主催

福井地域環境研究会(REF)

後援

福井新聞社・福井商工会議所・(財)地域環境研究所

申込・問合せ先

〒910 福井市中央3丁目2-15本町ビル コミュニティ企画研究所

REF10周年記念行事係 井幡、広瀬 TEL<0776>25-0683

〈キリトリ線〉

ほろよい討論会参加申込書 (第一部の参加は申込み不要)

	住所(TEL)	氏名	職業		住所(TEL)	氏名	職業
1	()			3	()		
2	()			4	()		

※参加費(2,000円/人)は当日会場にて受け賜ります。会場の都合上、席に限りがありますのでお早目にお申し込みください。

地方の在り方考える

野坂昭如氏ら招き講演

REF

福井地域環境研究会（REF）として講演。野坂氏は終戦間際、富田伊太郎会長の結成に春江町に疎開していたこと、周年記念講演会が十一日午後一時から福井市民福祉会館で開かれた。「地方都市の名誉と未来のために」をテーマに、今、全国各地で行われている「村おこし」地方おこしは文化とつながるような代物はほとんどない。文化は、そんなに急にできるものではなく、その地域に根づき、何年かけて育ったものが本質的な文化ではないか」と強調。私も早く東京に出て、地方都市文化の再興」と題

方都市に住みたいと思っいる」と述べた。続いて依田氏が「地方都市整備への提案」をテーマに自説を主張。第二部では福井大工学部助教授でREF副会長の本多義明氏を座長に、依田氏と県内の有識者ら五人が討論。会場では約二百人が聴講。意見や質問を出し、会場と舞台が一体となって地方都市について考えた。REFは産学官が一体となり、五十四年に設立。現在会員は百人で、地域環境の調査、研究や諸問題について討議、提言などの活動を行っている。

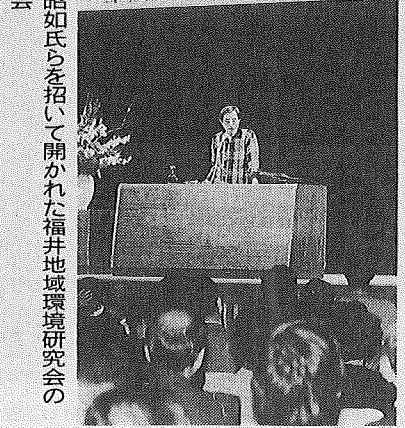
福井地域環境研

「地方の知恵を大切に」

200人参加し講演や討論会

福井地域環境研究会（REF）なされ、約二百人が耳を傾けた。富田伊太郎会長の結成十周年を記念して一日、作家・野坂昭如氏ら招いての記念講演会や討論会を福井市民福祉会館で開いた。地方都市の名誉と未来のために、基本テーマに興味深い提言が、六分科会を設け、これまで

「地方都市の名誉と」



野坂昭如氏ら招いて開かれた福井地域環境研究会の講演会

活発な研究活動を展開、定期的に報告書を発行している。講演会では野坂氏が「地方都市文化の再興」をテーマに文学界の状況などを交えながら独自の考え方を披露。大都会に住む多くの人がよりどころを求め、うつろいしていき、脱出願望が強い。その意味で地方の活性化は期待できる。今は人が少なくても、地方の知恵を大切にしていれば、人は必ず帰ってくる」と述べ、人への帰郷を促した。続いて、依田氏、橋詰武宏、福井新聞副社長、ジャズ奏者でパブ経営の白井淳夫氏、アイビー学院の伴藤真理子総括部長、今立町役場の佐々木哲夫氏を、ネリスト、本多義明、福井大工学部助教授を座長に討論会。街づくりや地方都市の在り方を活発に意見が交換された。

「エロ事師たち」の火花

○…先づ作家の野坂昭如氏が来福した。学校の先生、学生、公務員らでつくっている福井地域環境研究会（REF）の結成十周年に招かれた。野坂氏といえは「火垂る（ほたる）」で直木賞を受賞、「エロ事師たち」などの小説を手がけるほか、政界にも投じて、参院比例代表選に立候補。挙区で衆院選に立候補するなど話題に事欠かな。野坂氏の代表作は「エロ事師たち」は、野坂氏の世を代表するものでなかろうか。人間のエゴ、欲望が絡み、ぶつかり合う所に、文化の火花が飛び、野坂氏の代表作はそう教えているが、今の地方都市に人間の個性や能力、感性が激しくぶつかり、火花が飛び所があるだろうか。○…今、地域の活性化、都市づくり、再開発事業が県内でも盛んである。環境を整備し、アメニティめあがった登壇。講演（快活さ）を追求する演後の質問の際には、水が、私は、やはり、人間の代わりにはビルを手が、くささを重視した策をめぐらせたと思っいる。岡本太郎流に言えは、地方都市づくりは、爆発だになる。○…その野坂氏「東京な大都会に住む人はよ（橋詰）

福井地域環境研 10周年記念

あす野坂氏ら講演 「地方都市」テーマに



REFは、福井地域の環境問題について調査、研究を行い、地域発展に寄与しようとして設立された研究グループ。事業主、会社員、公務員、教員ら会員九十四人で構成されている。問い合は、福井市中央三ノ二一五、本町ビル、コミュニケーション研究所。電話0776(25)0683。参加する講演会は無料、討論会は会費二千円。

秋田地域問題研究会殿

三地域研究会による共同研究

提案 REF 福井地域環境研究会

計画技術の他地域への移転の可能性に関する研究

Feasibility study of planning technique to the other region

一般的計画技法は諸地域のさまざまな計画にどこまで適用可能かを実験する。その結果、諸地域、諸都市の独自性を把握し、一般性を確認する。

(方法)

- 1) 各地域は計画課題を発表する。(3地域合同会議 10月)
- 2) 計画対象都市を調査する。(各自、10月～3月)
- 3) 共同の研究報告会を行ない、討論する。(3地域合同4月)
- 4) これらの結果は土木学会の地方都市セッションで発表する。
- 5) このトライアングルネットワークを全国に広げる。
- 6) 経費は各研究会で予算化する。科研費でも補助する。
- 7) 3地域研究会内で研究担当者を募集する。

秋田

福井

甲府

REF 福井地域環境研究会 研究担当者

顧問	本多 義明	福井大学工学部 助教授
地域交流担当幹事	前川 政人	福井県立高志高校教諭
研究担当者	加藤 哲男	福井県福井土木事務所
同	武井 幸久	福井工業高等専門学校
同	川村 一治	三和測量建設KK
同	斉藤 浩幸	福井大学大学院

貴研究会におかれましても、早急に研究担当者をご決定のうえ、ご連絡ください。

連絡先：910 福井市城東1丁目18-3 前川 政人 宛